

第10回まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の榮譽をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として実施するものである。

2. 主催・後援

主催：まちづくり情報交流協議会、(一財)都市みらい推進機構

後援：国土交通省

3. 実施方法

全国の市区町村から応募のあった地区の中から、受賞地区を選定する。

【対象地区】

I. 完了地区

平成25年度までに都市再生整備計画事業が完了した地区

II. 計画地区

平成26年度において都市再生整備計画事業を実施中の地区

【審査委員会】平成27年3月26日(木)

委員長 高橋洋二 東京海洋大学名誉教授

【表彰】平成27年6月12日(金) (まちづくりと景観を考える全国大会) 等

4. 表彰

I. 完了地区

①まち交大賞 (国土交通大臣賞 1地区)

地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において優れた地区で、全国の都市・地域再生のモデルとして特に優秀な地区

②まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流協議会会長賞 1地区)

まち交大賞地区に次いで、上記の観点から優秀な地区

③まちづくり効果賞 (2地区程度) (今回は2地区)

まちづくり達成大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

II. 計画地区

①創意工夫大賞 (都市みらい推進機構理事長賞 1地区)

都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定のプロセスの3つの観点から特に優秀な地区

②まちづくりシナリオ賞 (2地区程度) (今回は2地区)

創意工夫大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

第10回まち交大賞 受賞地区一覧

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞)	あすけこうらんけい 足助香嵐溪 地区	愛知県 豊田市	電線類の地中化や道路修景整備、古い町並みの保存・活用などを「足助まちづくり推進協議会」を中心に、住民主体のまちづくりを行政と共働で行うことで、「足助らしさ」を反映させる町並みを形成した。
まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流 協議会会長賞)	しわ 紫波中央 駅前地区	岩手県 しわちやう 紫波町	長引く経済の低迷により長年未利用となっていた町所有の公共公益用地を有効利用するために、公民連携手法を導入した事業「オガールプロジェクト」を展開し、魅力が高まり、賑わいが生まれた。
創意工夫大賞 (都市みらい推進 機構理事長賞)	こもろじゆく 小諸宿周辺 地区	長野県 小諸市	市庁舎敷地一帯に、市庁舎、図書館等の複合的な施設と、安全・安心の拠点となる小諸厚生総合病院を配置、併せて、両者のエネルギーについて相互利用を行い、持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸の再構築を図るまちづくり。
まちづくり効果賞	健康づくり拠点 地区	静岡県 ながいずみちやう 長泉町	「住民一人ひとりが生涯を通じて健康な心と身体を育て、元気に暮らせるまちづくり」に取り組み、町の機構改革で「健康増進課」を設置し、保健衛生面からの一次予防と、スポーツ運動面からの体力づくり・運動習慣づくりの両面から総合的且つ、一体的な健康づくり事業を推進
	岸和田城周辺 地区	大阪府 岸和田市	「まち歩き観光」というスタイルに着目し、コンパクトなエリアにまとまった豊富な「地域資源」を「観光資源」として、市内外に広く発信するため、市民や事業者と連携して来訪者を迎える施設や仕組みづくり、点を面につなげる取り組みを実施した。
まちづくりシナリオ賞	びえい 美瑛中心市街 地区	北海道 びえいちやう 美瑛町	北海道大学との連携研究により中心市街地の課題を検討し、観光客を効果的に中心市街地へ誘客するための動線と拠点施設の整備等により次代においても安心した暮らしができる活気のある中心市街地の再生を目指すまちづくり。
	たけた 竹田地区	大分県 竹田市	城下町の町割を活かした城下町再生を実践。平成20年に城下町内を縦横断する都市計画道路の廃止を提案、城下町再生プロジェクト庁内会議やまちづくり工房(ワークショップ)など、行政と住民の対話、連携により城下町再生を具現化するまちづくり。